

ほけんだより 2月

令和4年2月
保健室

手指消毒について

手指衛生には、「流水と石けんでの手洗い」と「アルコール手指消毒」のふたつがあります。
「アルコール手指消毒」は「流水と石けんによる手洗い」よりも除菌効果が5~50倍ほど高く、殺菌効果も優れているため手洗いだけの手指衛生よりも、アルコール手指消毒を行うことは、とても効果があります。
建物の入り口や教室前に設置しているアルコール消毒液を利用し、手指の消毒をおこなってください。



※アルコール消毒液や石鹸に過敏反応したり、手荒れの心配がある場合は、流水で手をしっかり洗うこと。

手洗いの6つのタイミング



マスクについて

「マスクに飛沫抑える効果あり」スパコン富岳が計算…不織布、通り抜ける粒子少なめ
新型コロナウイルス感染症の流行が続くなか、理化学研究所や神戸大などのチームは24日、計算速度世界一を誇るスーパーコンピューター「富岳」を使って、飛沫を抑えるマスクの効果や、学校の教室などでの飛沫の拡散状況を予測した結果を公表した。不織布マスクやポリエステル製、綿製の布マスクはいずれも効果的なことがわかった
チームは3種類のマスクについて、せきを1回した時に飛沫をどの程度抑えるか調べた。その結果、不織布マスクは他の2種類に比べてマスクを通り抜ける飛沫の粒子の数が少なく、頬や鼻の隙間から漏れる粒子が多かった。一方、綿製はマスクを通り抜ける粒子の数が最も多かった。ただし、飛沫の体積をみると、不織布とポリエステルは8割ほど、綿でも7割ほどの飛沫がマスク内や顔に付着し、拡散を抑えられた。
また、各地で新学期が始まる中、小学生40人が入る教室で換気の効果調べたところ、エアコンを動かした状態で全ての窓を左右20センチ開け、廊下側の扉も開ければ、子どもの顔の高さ付近の空気は、100秒でほぼ入れ替わった。

読売新聞 2020/08/25

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド	
		 不織布					
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}	
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)		

※2 豊橋技術科学大学による実験値

